

# 鶴城中だより

文責  
校長 田上明利  
No. 1 1

## 脳は忘れようとしている

人は、見て、聞いて、臭って、食して、触れることでたくさん情報を仕入れていきます。その量はあまりにも莫大です。そこで、私たちの脳は、必要な情報だけを残り、他は全て忘れようとするのです。

## なぜ復習が必要?

人の脳には「海馬」と呼ばれる部分があります。つまり、海馬は、短いは、この海馬に一度蓄積されるそうです。しかし、その人に必要ないと判断した情報は、消し去られる前に、何らかの手立てができれば

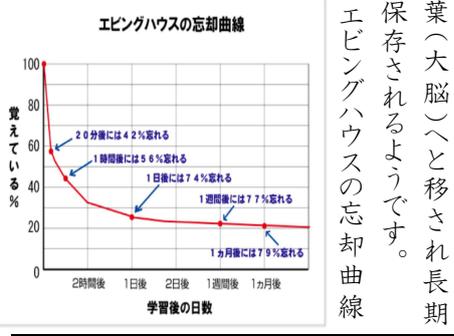
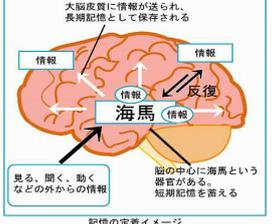
## いつでもどこでもだれにでも

山鹿市教育のキャッチフレーズに「いつでもどこでも、誰にでも」気持ちのよいあいさつをしようというのがあります。

気持ちのよいあいさつを進んで交わす習慣は、人間関係を育て、子どもたちが安心して楽しい学校生活を送る上でとても大切です。また、地域の方々のあいさつを大切にすることで、地域との結びつきも強くなると思います。

生徒は、学校でよくあいさつをしているように思いますが、家庭内のあいさつや地域の中でのあいさつはどうでしょうか。

まもなく三年生は義務教育を終了し、社会に出ていきます。社会人として最低限必要なことは、「さわやかで、気持ちよいあいさつ」ができることです。いつでもどこでもだれにでも挨拶ができる生徒になってほしいですね。



## 有終の美を飾る 輝かしい成績

十月から十一月にかけて、様々な作品募集がありました。まだ、結果が届いていないものもありますが、鶴城中生のたいへん素晴らしい成績が届いていますのでお知らせします。

- 山鹿市文集「なかま」  
詩歌の部 特選  
一年 男澤 爽太君  
二年 森田 愛梨さん  
三年 山口 実心さん

その情報は、一時間後には半分以上を忘れると示しています。つまり、子どもたちにとって、忘れない手立てのひとつが復習(家庭学習)なのです。海馬が、この情報は大切だ、残さなければいけないと判断するためには、繰り返し情報を入れてやるのが大切です。一度きりの情報でなく、何度も情報が繰り返し入れれば、自ずと大切な情報と判断するのです。これを意図的につくる方法が復習です。確実に覚えるためには、繰り返し学習することが大切だということです。

(特選は各学年一人です)ので、本校生徒が独占したことになりました)

- 生活作文の部 特選  
一年 西嶽 美姫さん
- 県人権作文 優秀賞  
三年 手島 夏希さん
- 熊日学校新聞コンクール壁新聞の部 優秀賞  
一年 牛島 涼香さん  
一年 田中 樹理さん  
一年 中島 想奈さん  
一年 平川 詩織さん

## 最後の生徒会役員

鶴城中学校最後の生徒会役員を紹介します。

- 生徒会長 森田愛梨さん
  - 生徒会副会長 山隈 聖君
  - 書記・会計 谷口明日光さん 竹田陽太君
  - 総務生活委員長 立花 樹君
  - 総務生活副委員長 堤 埜空さん
  - 環境委員長 福島 涼君
  - 図書文化委員長 吉里秀徳君
  - 体育委員長 桑村翼沙君
  - 放送委員長 下村杏子さん
  - 保健給食委員長 大須賀良昭君
  - 保健給食副委員長 迎田鷹玖君
- 二年生は、全員が役職に就きます。残された四ヶ月余り、全員で力を合わせて鶴城中学校を締めくくってほしいです。

## 地域でも大活躍する鶴城中生



三岳キラキラ秋祭り



やまがおもてなし子ども公演



山鹿市青少年健全育成大会

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---